

ECLIPSE

CDメインユニット

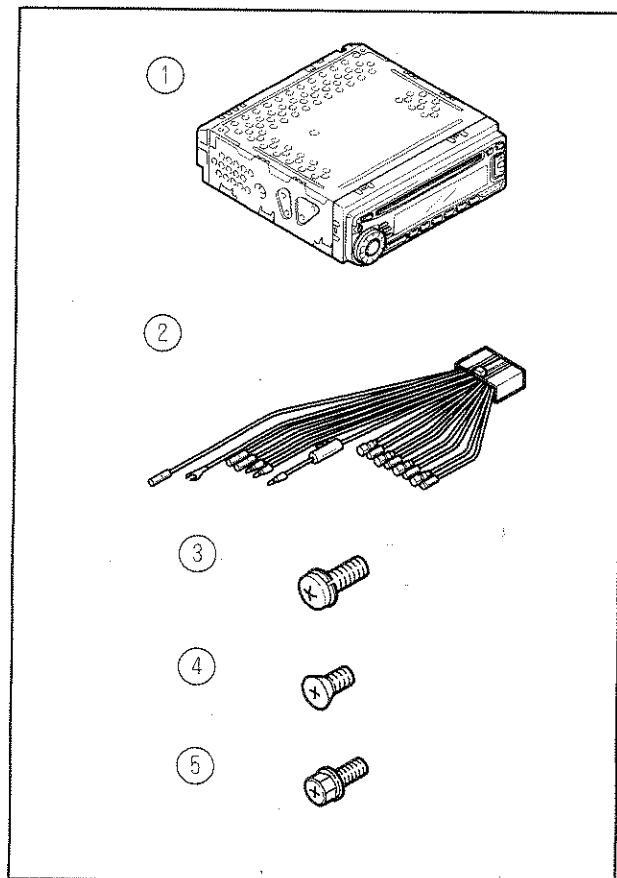
E1102 CDT

取付説明書

- 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。
- 販売店様へ
取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。
- 「取扱説明書」、「取付説明書」と「ご使用上の注意」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

構成部品

図中番号	品名	数量
①	メインユニット	1
②	接続コード (16P-ギボン)	1
③	座金付き小ねじ (M5×8)	4
④	皿ねじ (M5×8)	4
⑤	六角ボルト (M4×10)	1



■安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所等運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。
- 車両のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンク等の保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- 取り付け前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしてください。プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げにならないようテープ等でまとめてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。電源コードの電流容量がオーバーし、火災・感電の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる場所に取付・配線をするとう交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合には、ゴーグル等の目を保護する物を使用してください。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない場合は絶縁性テープ等で絶縁してください。ショートにより火災・感電の原因となります。
- 運転者は走行中に音量調節等の操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- ディスク挿入口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがする等の異常がございましたら直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用しますと事故・火災・感電の原因となります。
- 運転者は走行中にディスクの交換をしないでください。前方不注意となり事故などの原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意

- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店にご依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、ほこり、油煙が混入しますと発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ等へ取り付けないでください。本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に手や指を挟まれないように注意してください。怪我の原因となることがあります。
- アンプ放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱で火傷をする場合があります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。
- 電源 ON時は、ボリュームの位置に注意してください。電源 ON時に突然大きな音が出て、聴力障害等の原因となることがあります。
- 音声割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 長時間歪んだ状態で使用しないでください。スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

取り付けの前に

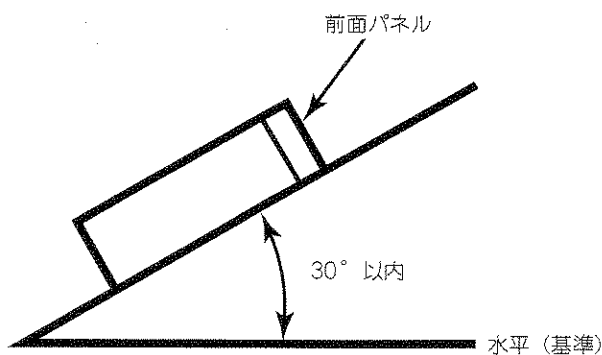
ポイント

- 取り付け前に必ずバッテリーの⊖端子をはずしてください。
- 取り付け、固定する前に仮配線を行い本機が正常に動作するか確認してください。
もし、正常に動作しない場合は、取り付けや配線を確かめてください。

取り付けについて

取り付け角度

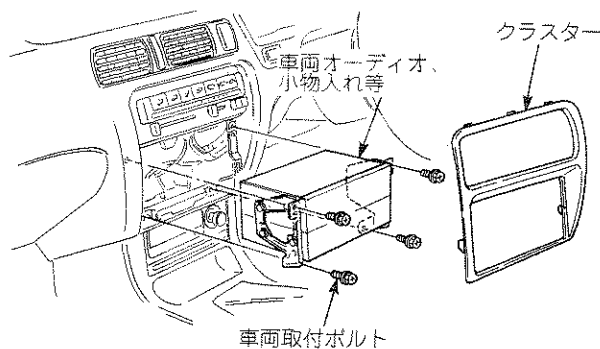
本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して、30度以内の角度で取り付けてください。音飛びやCDの排出ができなくなります。



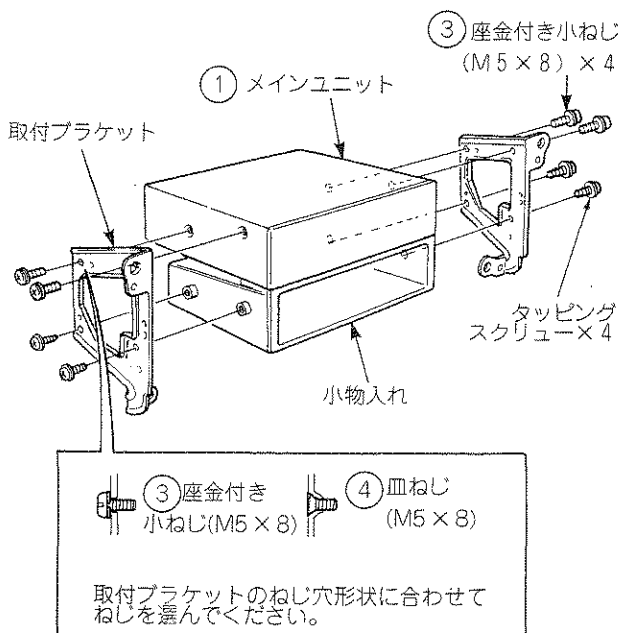
メインユニットの取り付け

— トヨタ車への取り付け (例) —

- 1 車のオーディオ、小物入れなどを取りはずす。
- 2 オーディオ、小物入れを取り付けているブラケットを取りはずす。



- 3 メインユニットにブラケットを取り付ける。
- 4 メインユニットを車に取り付ける。



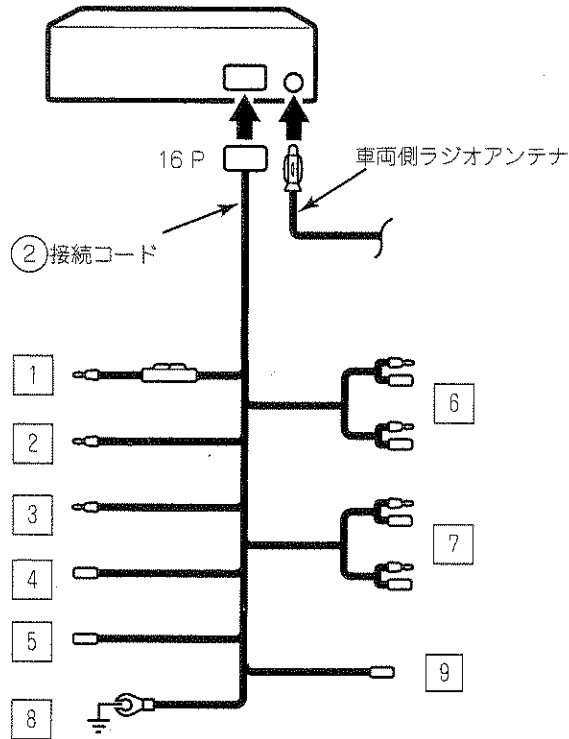
接続のしかた

警告

- 電源リード線の被覆を切って、他の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。
- コード類は運転操作の妨げにならないようテープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。

—各コードの名称と役目—

①メインユニット



●電源コード・スピーカコードの線色と接続先

番号	線色	コードの名前	接続先	接続要領
1	黄色	バッテリー電源コード	車のキーに関係なく常時電源が加わっているところに接続します。	8 ペ ー ジ
2	赤色	ACC電源コード	車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れ、ACCにすると電源が加わるところに接続します。 ※ACCポジションの無い車に取り付ける場合は、バッテリー電源コードと同じ所に接続してください。 この場合下記の“ACCポジションの無い車に取り付ける場合”を参照してください。	
3	橙/白色	照明用電源コード	車のライトスイッチをONにしたときに、電源が加わるところに接続します。	
4	青色	オートアンテナ用電源コード	アンテナがオートアンテナの場合、車側のオートアンテナのコントロール端子に接続します。 アンテナがガラスアンテナの場合、車側のアンテナアンプ電源端子に接続します。	
5	青/白色	システムコントロール電源コード	外部アンプ等のコントロール電源端子に接続します。	
6	白色 白/黒色 灰色 灰/黒色	フロントスピーカ出力コード	フロントスピーカへ接続します。 白色：左+ 白/黒色：左- 灰色：右+ 灰/黒色：右-	
7	緑色 緑/黒色 紫色 紫/黒色	リアスピーカ出力コード	リアスピーカへ接続します。 緑色：左+ 緑/黒色：左- 紫色：右+ 紫/黒色：右-	
8	黒色	アースコード	車のボディのアースが確実に取れる所へ取り付けます。	
9	桃色	ミュート信号コード	接続しません。 (ショートしないようにご注意ください。)	

—ACCポジションの無い車に取り付ける場合—

一部の外車などACCポジションの無い車に取り付ける場合は、お客様へ引き渡しの際には必ず下記の内容をご説明いただきますようお願いいたします。

『車を降車される際は、必ず電源ONの状態メインユニットのパワーボタンを2秒以上押して電源をOFFしてください。

電源を切り忘れますとバッテリーが上がる恐れがあります。』

—車側と接続する方法—

ポイント

- ・それぞれの電源が取り出せるよう車種別変換コード（コンボ用）をお買い求めください。
（詳しくは販売店にご相談ください。）
- ・メインユニットからの電源コード、スピーカコードを車種別変換コードと接続して車両ハーネスと接続してください。

—車種別変換コード使用例—

